

● **宗教法人α Version 7.102**

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ ATLAS シリーズのバージョンアップに伴う対応を行いました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**宗教法人 d b (VERSION:7.102) の変更点**”を参照してください。

宗教法人 d b (VERSION:7.102) の変更点

令和元年 10 月 1 日以後終了課税期間分 消費税に伴う変更

I. 出力

1) 消費税額試算表・集計表・課税売上割合

①消費税額試算表

- ・令和元年 10 月をまたぐ事業年度の場合、「非課税」「不課税」の仕訳は、各科目の標準税率（10% * 税率は表示しません。）行に表示します。

その他改良・修正

I. 導入・更新

1) 残高合併

2) 名称等転送

- ・消費税 10%改正に伴うメッセージの制御変更を行いました。

II. 登録・入力

1) 仕訳入力

①伝票入力

- ・マルチウィンドウ時に不要なコントロールを表示していたのを修正しました。
- ・「伝票入力設定」を OK で閉じた時に、カーソルが表示されなくなっていたのを修正しました。

②摘要登録

- ・仕訳入力中の [F7 摘要登録] の「詳細登録 [F3]」で、消費税の選択肢に「経過 8%」「軽減 8%」が表示されていなかったのを修正しました。

2) 元帳検索

- ・貸借修正ダイアログで、金額が 11 桁までしか入力できなかったのを、12 桁入力できるように修正しました。
- ・「新規会社登録・修正・削除」：消費税情報タブで経理方式 [一括税抜き処理]、元帳表記 [貸借税込み表記] を選択しているマスターで、外税仕訳が税抜金額で表示されていたのを修正しました。

3) 科目（摘要）残高一覧表

- ・「科目コード出力」の「ド」が半角「ド」になっていたのを修正しました。

4) 新規会社登録・修正・削除

- ・31.4.21~02.4.20 20 日締めマスターで、至日変更の 9 カ月目から Enter で進めなくなっていたのを修正しました。

III. 出力

1) 総勘定元帳

- ・「新規会社登録・修正・削除」：消費税情報タブで経理方式 [一括税抜き処理]、元帳表記 [貸借税込み表記] を選択しているマスターで、外税仕訳が税抜金額で出力されていたのを修正しました。

2) 消費税額試算表・集計表・課税売上割合

①消費税額試算表

- ・消費税額試算表で、仮払消費税に輸入消費税属性を付けている場合の集計を変更しました。
- ・一括税抜きマスターで、既定処理の部門にチェックがある状態で立ち上げた場合、前年対比の前期課税分が税込で表示されるのを修正しました。
- ・仕訳入力等から消費税額試算表に戻った場合の再集計や描画の不具合を修正しました。

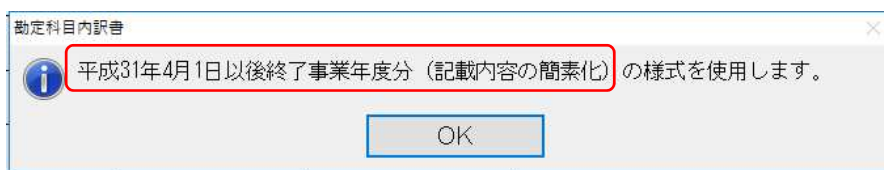
IV. 決算

1) 勘定科目内訳書

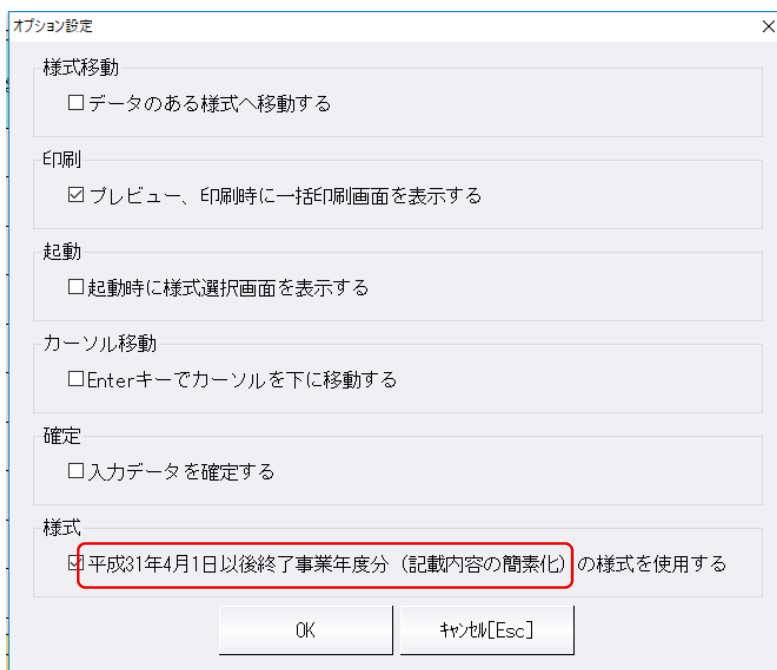
「記載内容の簡素化」関連

①様式名称の表記変更

- 平成31年4月期を挟む事業期間で表示される「記載内容の簡素化に対応した様式」という表記を、「平成31年4月1日以後終了事業年度分（記載内容の簡素化）」に変更しました。
- ・マスターが該当事業期間になったときの様式切替のメッセージ

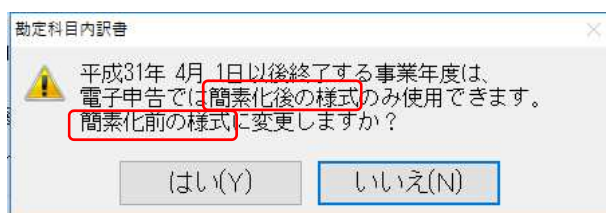


- ・オプション(O)→オプション設定→様式



②様式切替の際のメッセージ変更

- オプション設定で様式のチェックを外した際のメッセージについて、従来の新様式の表記を「簡素化後の様式」に、旧様式の表記を「簡素化前の様式」に変更しました。



③設定情報のコピーの修正

- 簡素化前のマスターから簡素化後のマスターへ設定情報のコピーを行うと、正しく表示されない様式があったのを修正しました。
- ・簡素化前のマスターから簡素化後のマスターへ「他マスターからの設定情報のコピー」を行うと、入力があってもプレビューや印刷をすると入力内容が表示されなくなっていました。
該当する項目は以下の通りです。

内訳書名	項目名
① 預貯金等の内訳書	種類
② 受取手形の内訳書	割引銀行名及び支店名等
⑥ 有価証券の内訳書	売却(買入)先の所在地(住所)
⑧ 支払手形の内訳書	支店名

※現在入力内容が表示されなくなっているマスターについては、今回のプログラムインストール後初めて業務を起動した際に修復の処理が実行されます。

全般、機能

①スペースの除外

- 文字列の最後にスペースを入れて Enter で確定した場合、入力画面上スペースは消えています、ソートをかけるとスペースが復活してしまうのを修正しました。
- ・原因：入力画面上はスペースが消えますが、[F9 参照]内には後ろにスペースが入った状態で登録され、ソート処理では[F9 参照]内から取得した名称を入力画面に書き込んでいるため。
- ・修正内容：[F9 参照]内に対しても後ろスペースを除外して登録するようにしました。
該当する項目は以下の通りです。

内訳書名	項目名
① 預貯金等の内訳書	金融機関名、支店名
② 受取手形の内訳書	振出人、支払銀行名、支払支店名、割引銀行名及び支店名等
③ 売掛金（未収入金）の内訳書	相手先名称、相手先所在地
④-1 仮払金（前渡金）の内訳書	相手先名称、相手先所在地
④-2 貸付金及び受取利息の内訳書	貸付先名称(※)、貸付先所在地(※)
⑧ 支払手形の内訳書	支払先、支払銀行名、支払支店名
⑨ 買掛金（未払金・未払費用）の内訳書	相手先名称、相手先所在地
⑩-1 仮受金（前受金・預り金）の内訳書	相手先名称、相手先所在地
⑪ 借入金及び支払利子の内訳書	借入先名称(※)
⑬-1 雑益、雑損失等の内訳書	相手先名称(※)、相手先所在地(※)
⑬-2 雑損失等の内訳書	相手先名称(※)、相手先所在地(※)

(※)ソート処理の影響はないが、[F9 参照]内には後ろスペースが入った状態で登録されていた箇所。

- [F9 参照]内の名称にスペース除外の処理を行った結果、同一名称のデータが存在する場合、1件だけ残り他を削除するように対応します。
- ・従来のプログラムでは、後ろスペースの数が違うと別の名称として登録されていましたが、今回の対応で[F9 参照]内のデータで後ろスペースを除外した結果、同じ名称になるものについては1件を残して他を削除するようにしました。

※スペースを除外して同じ名称になるものを1件残すとき、極力[F9 参照]内の並びに影響しないよう、元々登録されていたもののうち最も若い番号として残すようにしています。ソートなどでデータの並びが意図するものと異なる場合は[F9 参照]内をご確認ください。

②マルチウィンドウ有効の文字表示の修正

- マルチウィンドウ有効の入力画面で、解像度によって、プルダウン形式の欄の12文字目がボタンに隠れ、表示されない項目があったのを修正しました。それ以外にも解像度によりすべての文字が表示されない項目について修正しました。

(例) 解像度 1920 x 1080 画面で該当する項目は以下の通りです。

内訳書名	項目名
① 預貯金等の内訳書	金融機関名、支店名
② 受取手形の内訳書	科目、支払銀行名、支払支店名、割引銀行名及び支店名等
③ 売掛金（未収入金）の内訳書	科目、相手先所在地
④-1 仮払金（前渡金）の内訳書	科目
④-2 貸付金及び受取利息の内訳書	貸付先名称、貸付先所在地、法人・代表者との関係
⑤ 棚卸資産の内訳書	科目
⑦ 固定資産の内訳書	面積、異動事由
⑧ 支払手形の内訳書	支払先、支払銀行名、支払支店名
⑨ 買掛金（未払金・未払費用）の内訳書	科目
⑩-1 仮受金（前受金・預り金）の内訳書	科目
⑫ 土地の売上高等の内訳書	売上年月
⑬ 売上高等の事業所別内訳書	摘要
⑮-1 地代家賃等の内訳書	支払対象期間(年月日)
⑯-1 雑益、雑損失等の内訳書	科目
⑯-2 雑損失等の内訳書	科目
⑰ その他科目の内訳書①	科目
⑱ その他科目の内訳書②	科目

※該当する項目は異なりますが、解像度 1280 x 1024、1024 x 768 画面についても修正しています。

③内訳書の更新時の入力画面の表示の修正

- 更新時に[データを保管へ移動]にチェックを付けて更新実行したとき、「その他〇件」が入力画面に残っていたのを残らないよう修正しました。

(手順例)

- 1.[編集]の[特殊行挿入]より挿入した「その他〇件」のデータがあるマスターを翌期更新。
- 2.内訳書の更新時に[データを保管へ移動]にチェックを付けて更新実行。
- 3.更新後の入力画面に、[編集]の[特殊行挿入]より挿入した「その他〇件」のデータが残る。
- 4.入力画面に残っている「その他〇件」に金額を入力しようとすると、エラーや不正な集計になる。

※簡素化様式対応前からの現象。「その他〇件」は本来入力画面に残らない仕様です。

④データエクスポート・データインポート

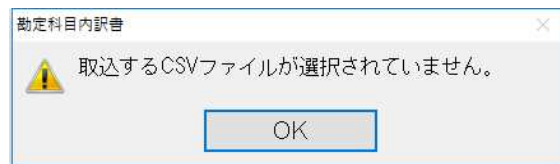
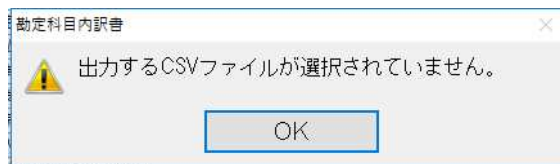
- データエクスポートの様式選択画面で、入力のない様式は初期値をチェック OFF にするように改良しました。

- データエクスポート・データインポートの様式選択画面で、処理するファイルを選択しないで処理を開始した際のメッセージを変更しました。

※従来は「出力状態が選択されていません。」と表示されていました。

・データエクスポート

・データインポート



各内訳書

①固定資産の内訳書

- 最終行のデータ入力で、元号を選択しても元号が表示されず、その状態で年月を入力して Enter キーを押下すると、「パラメーターが間違っています。」とメッセージが出ていたのを修正しました。

※マルチウィンドウ有効、並べて表示、右側画面で起きていた現象です。

②買掛金の内訳書

- 欄外登録の期末現在高が「-」で出力されていたのを「△」で出力するよう修正しました。

③源泉所得税預り金の内訳書

- 出力形式が「個別」の場合で期末現在高がマイナス金額のとき、左列の金額が「-」で出力されていたのを「△」で出力するよう修正しました。

④雑益、雑損失の内訳書

- 簡素化様式の場合、金額が右の罫線ギリギリで印刷されるのを、従来通り少し間を開けて印字するようになりました。

V. 通信・移動

1) マスター&データ抽出

- ・消費税申告書10%対応にて追加された消費税関連テーブルを移動対象外（除外&復元）とするよう対応しました。

VI. 表形式

1) 表形式仕訳データ取込

2) 表形式出納帳データ取込

3) 表形式振替伝票データ取込

- ・改正バージョンアップ後、仮受(仮払)消費税に税区分が入力されていない2019年9月以前の仕訳が、税率5%で取り込まれていたのを修正しました。

以上